

市民委員会で頂いた主なご意見

第3回市民委員会(平成29年8月22日)

- 庁舎の規模について、前提条件として職員・議員の数が関係してくるという事だが、今の職員数・議員数で算定した結果の規模になるのか？5年後10年後の人口の減少を考えた職員数にするという事は考えているのか？
- 平成72年で、津久見の人口推計は10,370人というのがあるのでそういった数字も視野に入れて検討しないといけないと思う。
- 素朴な疑問として、お金がどのくらいあるのかわからないので、これから先のまちのビジョンをしっかりと考えたうえで場所を決めないといけないと思う。
- 安全性についてとても大事だと思うが、一階部分をピロティ方式にするのであれば、すべての場所に対応可能かなと思う。
- 安全な駅より北の現庁舎が、一番良いんではと考えているが、市民のふれあいまちづくりという面では埋立地。
- どの場所も、津波が来ても2mから5mの浸水区域になっているので、状況的には一緒ではないかと思うが、個人的には、海沿いの更地の所が最もやり易いんではないかと思う。
- ピロティ方式を採用するのであれば、海岸に市有地があるので、ここの利用がベストかなと思う。
- 色々難しく迷う点もあるが、一番に考えることは「安全性」という事で、頑丈なものを建てるのであれば海岸の所でいいんじゃないかと思う。
- 埋立地が一つの起爆剤として良いんではないかと思う。
- 住みたいまちになった方が良いのかなと思うので、みんなが利便性の良い所を選んだ方が良いと思う。
- 津久見市が決めた、まち・人・仕事創生の総合戦略で言うと、賑わいの創出を視野に入れると「港湾埋立地」が一番良いと思っている。
- せっかく造るんだったら公民館機能も持った庁舎を造ったらどうかという話もある。

- 各候補地で建てた場合の建築費の比較はした事があるか？ただ、30億の予算が出ているので、それでやったというのではなくて、ある一定の間隔で、ここならばこうなる、ここはこのくらいかかるといった出し方はしているのか？
- 個人的には「港湾埋立地」が良いんじゃないかと思う。その理由として、市有地であり一番広いという事で、いろんなことにも使える。
- 安全性が担保できるのならば、少し大きめのピロティを造って、せっかく産業の町なので、コンクリートのピロティがあって下が道の駅になっていて、何かあれば上に逃げれば良いと思う。そこで結婚式などが出来て、単独の市役所ではなくてある程度稼げるような庁舎が良いと思う。
- 後のコストのことを考えると、かかる経費も大変なんで、すべて市有地の「港湾埋立地」が良いと思う。
- 港の土地は道の駅や、海の駅みたいな観光拠点として使って、駅前に市庁舎を建てて、中心市街地としっかり線で結んだ形が取れたら良いのかなと思う。
- 4か所を選ばれている中で、場所によって緊防債のハードルが高くなったり低くなったりする事はあ
るのか？